

Topic

COLUMN: 先生紹介 ▶ 永野 綾弓 (今福教室)

出会う人で人は変わり、人生も変わる。



はじめまして。今福教室で個別クラスを担当させていただいている永野綾弓と申します。カイチには小2の時に入り、そのあと高3までお世話になり、先生方の熱心なサポートのおかげで立命館大学に合格

しました。影響しています。それは川西先生の存在です。川西先生に出会えたことで私は大きく変わりました。

私は極度の人見知りで、自分から積極的に人に話しかけたりすることができません。カイチは入学時の掟で「わからないところを質問すること」とありますが、私にはできないので、小さいながらとても不安だったことを覚えています。しかし、川西先生は私がわからないときの表情や仕草をわかってくれていて声をかけてくれました。そして、質問した問題も私がわかるまで何回も説明してくださいました。そのおかげで、私は少しずつ先生に質問できるようになり、自分から話すこともできるようになりました。そんな川西先生のおかげで成績は上がり、高校にも合格でき、特に高校では上位の成績を取り、希望大学にまで合格することができました。本当に川西先生には足を向けて寝ることができません。

カイチは塾ですから成績を上げるということ

は当然のことなのかもしれません。そして、成績を上げる塾というのは、カイチ以外にもいろいろあると思います。ただ、他の塾にはなく、カイチにしかないものがあります。それは「先生の生徒に対する気持ち」。「生徒達を何とかする」と言っても、言うのは簡単ですが実行するには難しいと思います。しかし、それをしてくれる先生がカイチにはいます。出会う人により人は変わり、人生が変わります。私はカイチのおかげで、川西先生のおかげで変わりました。私の場合は川西先生でしたが、皆さんはどの先生でしょう？カイチには皆さんを変える先生がいると思います。ですから、その先生とカイチで頑張ってください。きっと、皆さんの将来が大きく変わると思います。

今は非常勤講師として、川西先生のもとで修行中ですが、皆さんの為に日々、頑張りたいと思いますので、今後ともよろしくお願い致します！



シルバークラスのちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE シルバーストレ・ベニグノ・メリン (トーキングキッズ)

Knock Knock! Trick or Treat?

Do you like to go trick or treating? Are you ready to scare or to be scared? Halloween is coming soon! On the evening of October 31, you will see children in their scariest costume knocking house-to-house asking for treats with the phrase "Trick or Treat". The "treat" is usually candies or sweets, but in other countries money is used. If treat is given, the child will not perform a trick to the owner of the house. The "trick" means fake danger. Do you know how Halloween started in Japan? The first Halloween started in Tokyo Disneyland to attract more visitors in autumn season. The idea was adopted from another



Disneyland around the world that had done it already. Universal Studios in Osaka copied the same concept and the event gets scarier every year. Long time ago, only foreigners celebrated the said event. As a matter of fact, Japan already has August as "scary month" when they celebrate O-bon.



Why is Halloween celebrated on October 31st? The people in Western countries such as Australia, the United States, Canada, New Zealand, parts of Latin America, and Europe celebrate Halloween on October 31st. They believe that the wall between the world of the living and the world of the dead is at its thinnest. People wear masks to scare the

bad ghosts and eat pumpkins as a symbol of good harvest. On the other hand, there is a similar story in Japan about the wall between the two worlds but, in contrast to the Western countries that want to scare away the ghosts, Japan welcomes their great grandfathers' spirits. Before Tokyo Disneyland started Halloween, Japanese felt no need to celebrate the dead outside of O-bon season.



Is Halloween good for business? When Halloween became popular, it opened a very big chance for business owners to increase their sales. They suddenly jumped on with a line of Halloween goodies of their own to attract customers. Pumpkin keychains, snacks, and other products made their way to stores. Premade costumes were being sold and cosplayers got one more big day to show off their talents. Being the creator of cosplaying, it is no surprise that Japanese quickly accept the dress up concept of Halloween. Halloween had made its way into the hearts of Japanese. No one can question that Japan might be the best at throwing big Halloween parties. Happy Halloween!

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター



【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662

【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984

【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000

【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117

【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467

勉強の秋！家庭学習のコツ教えます

～あと5点取るために「やり抜く」前の肝心なこと

～低学年の子供達は毎日15分のアレで頭のキレが変わる



高木 秀章 (塾長)

中学生の皆さんは、中間テストが終わり期末対策に入っている頃だと思いますが、中間テストの結果はいかがでしたか？カイチ全体では平均90点以上のカイチ賞が56名、自己ベストの努力賞が77名とまずまずの成績でした。今回、私は関目教室の中間テスト対策にヘルプで3日間入る機会がありました。そこで、関目生に何度も繰り返し話したことは、「やるべき内容を絞ること」、「それを徹底的にやり抜くこと」でした。

関目生に学習アドバイスをしても、やはりトップレベルの生徒は自分が後5点取るためにどこが弱くて何をすべきかを明確に知っています。やるべき内容を絞る作業は、特に定期で400点を超える生徒に重要で、次の質問が有効です。「明日テストだと考えると今何点取れる？それを100点にするためには何が必要？」すると、生徒達は頭の中を探り、弱手箇所と対処法を挙げてきます。それをやり抜くことが、最後の詰めとして重要な作業です。

2つ目の「徹底してやり抜くこと」は教室でもよく言われていることでしょう。塾の1問1答や学校の漢字プリントや数ワークなど、やるべきことを絞り徹底的にやり抜けば必ず成績は伸びます。ここで、関目生を見ていて印象的なことがありました。国語のテスト前日、私が学習の進捗確認で挙げた項目全てに1人の生徒は「全て完璧です。」と答え、もう1人の生徒は「この問題集のここが出来ていない。あのプリントはここが不安です。」と話しました。このように聞くと前者の生徒の方が良い成績を残すはずですが、結果は後者の子の成績が上回っていました。

性格の問題と言えればそれまでですが、勉強においては慎重さはとても重要です。特に答え合わせは、自分を疑い丁寧に行わないと、間違った答えを覚えてしまい、それを反復してやり抜いてしまうと間違った答えから離れられなくなります。努力しているのに、テストの結果が手応えより5点～10点低い人は、採点の基準が甘く、漢字や記述問題を正しい形で覚えていないかも知れません。

特に受験生にとって、11月は実力・模試・定期が続く大切な時期。「明日テストとして自分に足りないところは？」とするべきことを書き出し絞る、絞った内容に対し、採点を慎重に行い、正しい解法や答えを徹底的に覚えることを意識して勉強しましょう。

先日、夏休みに担当していたパスカルキッズの体験講座の指導をようやく終える事が出来ました。「夏休みの講座を10月まで？」と怪訝に思われた方もいらっしゃると思いますが、8月～9月、諸口の高木先生の入院により、夏の講座が10月に振替となっていたのです。

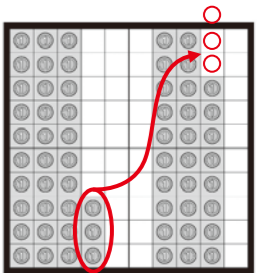
僅か4回の講座でしたが、年長で「63-28」「27+38」が出来るようになった子、そろばんで九九に興味を持ったのでかけ算をして欲しいとの要望があった年長さんは、最終日には13×5などの計算も頭でさっと解けるようになりました。また、上本町教室にも行く機会がありましたが、小1で繰り上がりの計算が微妙だった男の子は「28+65」を自力で正解できるようになり、幼稚園の年長さんの女の子は、3年生でも大変な文章題を正解できるようになりました。

見学している先生達もびっくりしていましたが、彼らが短時間で出来るようになった(正確にはできるように見えた)のは、彼らの中に「イメージする力」(空間把握能力)がしっかり育っていたからです。

なぜ年長さんが「33+28」などの計算が暗算で出来るしまうのか。しか

も、ほとんど教えられることも無しに。それは、数を図としてイメージして見え、そのイメージを元に考えているからです。

「33+28」の式の子供達のイメージは右の図のようになります。左の3を右の8の上に置くと全体で61になります。解き方は自由ですが、数を図としてイメージする力(空間把握能力)が考える素地になっていることがわかんと思います。



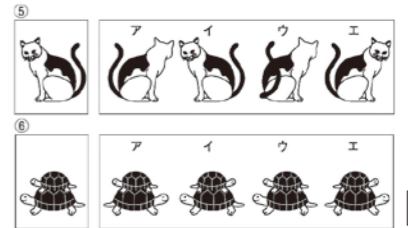
このように、私達のパスカルキッズの指導は、習得した知識を活用することで、新しい知識を自分の力で獲得していきます。そして、その気づきの中で理解が深まるよう工夫されています。上記のプロセスを見ればほとんど説明なしに、イメージの力を駆使して、子供達が自力で問題を解けるようになることが理解出来るかと思えます。



イメージする力(空間把握能力)の育成法は、毎日15分でいいので、パズルをさせることが有効です。左のような、ジグソーパズル、レゴブロック、タングラムなど、市販されているものなら何でも構いません。特にレゴは自分の創造で作るのではなく説明書を見ながら作る形式の物が有効です。レゴもジグソーパズルも、出来れば対象年齢を無視してどんどんレベルを上げてさせてください。

また、大手書店やインターネットで市販されている能力開発プリントを学習前に行うのも効果的です。

例えば下の問題。左の図を後ろから見るとどのように見えるか。左の図を頭で180度回転させるイメージの力を鍛える問題です。是非挑戦してください。



答え ⑤ア ⑥エ

このイメージする力は、算数や数学だけでなく、国語の学習にも影響する力だと私は考えています。高学年になり国語が出来る生徒は、文章を感覚で捉えるのではなく、各段落の関係性をフローチャートのような図で捉え読み取ります。また、物語のストーリーの把握にも、相関・相互などの論理的な関係性の理解が必要です。私の経験上で、最終的にイメージする力に優れている生徒達は国語も強くなる傾向にあると感じています。

「本当にパズルで賢くなるの?!」と不思議な気持ちになるかもしれませんが、このような力は特に幼児期から小学2年生までの間で特に伸びる力です。毎日の勉強前の15分、是非継続的に取り組んでみてください。その積み重ねが、将来の大きな違いを生むかも知れません。

カイチからのお知らせ

- 11月初旬より期末模擬テストを各教室で実施します。
 - 11月10日(土)は中学3年生対象の進研模試を午前9時より実施します。
 - 11月11日(日)は中学3年生対象の五ツ木模試が実施されます。
 - 12月8日(土)は珠算競技大会を実施します。代表に選ばれたみんなは教室の代表としてがんばってください。
 - 11月は受験生にとって大切なテストが続きます。体調管理をしっかり行いながらテスト勉強をがんばってください。
- <受験生を持つ保護者の皆様へ>
11月はテストが続く、精神的に不安定になる生徒達も出てくる時期です。心配やご相談があります時は、遠慮なく各教室にご相談ください。

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

パスカルキッズ 小学受験 小学受験は家族の絆を深める共同作業

伊藤 喜章 (パスカルキッズ)



パスカルキッズ上本町教室は大阪市の天王寺区にあり、ここでは小学受験コース・能力開発コース・トーキングキッズコースがあります。ご存知の通り、上本町付近には多数の塾があり激戦区です。

しかしながら、ここにきてたくさんの問い合わせをいただけるようになってきました。なぜなら、カトリーナ先生やシルバー先生をはじめ、スタッフ一同生徒一人一人に丁寧に指導していることが一因だと思われそうですが、中でも小学受験を担当されている山内先生の授業が特に素晴らしいからです。

山内先生は29年間も関西の小学受験指導にあたられ、大手教室でも長年指導されてこられました。多くの受験生をそれぞれ志望校に合格させてこられました。子ども一人一人と各家庭に向き合い、受験が家族の絆を深める共同作業になるような指導をしたいという思いから、満を持してパスカルキッズ上本町教室で教えていただくこととなりました。

そんな山内先生は授業の準備に余念がなく、各受講生1人につき十数枚のプリントを用意されます。前回間違えた問題や引っかかりやすい問題を中心に一問一問作成されるので、授業以外にはほぼ問題作成にあたられます。

授業は授業で、楽しく、時に厳しく指導されます。いつもクールな山内先生がバイキマンのモノマネをしたときは驚きましたが、生徒は非常に喜んでおりました。

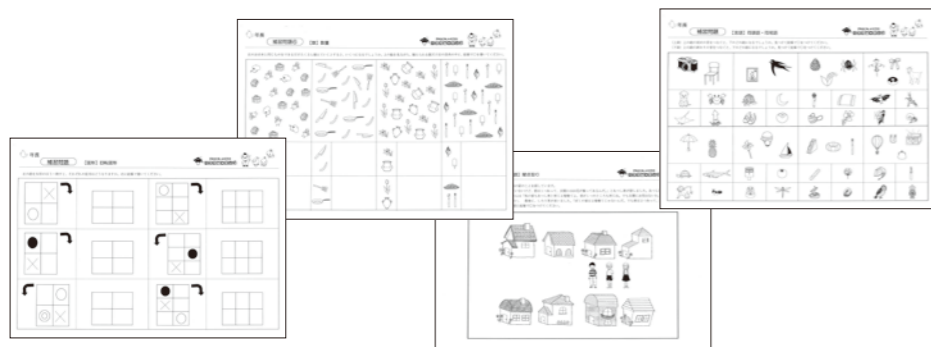
小学受験では本人の勉強以外にご家庭での生活を含めて対策をしなければならない面があり、当コースでも親御さんに対して普段の勉強方法や面接の指導があります。子どもは家庭環境で伸びるものという信条のもと、お母様だけでなくお父様に対しても容赦なく「合格したい」という気持ちやそれをどう面接に活かすか熱い指導が入ります。

このような方法で今年度はすでに同志社国際や信愛女学院合格者を輩出しています。また大阪教育大付属天王寺校合格に向けて3名が勉強中です。

我々も山内先生に負けないぐらい熱い情熱を



▲授業の一コマ。合格してからが大切。体験を大切にしています



▲小学入試のプリントは全て山内先生が作成監修

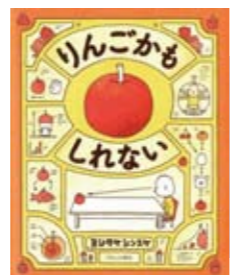
もって生徒各々が合格できるよう生徒・保護者の皆様と共に頑張っていきたいと思えます。



最後にパスカルキッズの子供達は本が大好き。人気の本ベスト3を紹介して終わります。

〈パスカルキッズ本貸し出しベスト3〉

1位



情熱大陸にも出るほど有名なヨシタケシンスケの代表作。机の上にあるのは本当にりんごなのか。科学者が考えるような様々な疑問をこどもたちの視点で考えられた珠玉の一作。

2位



おしり探偵シリーズとはにかく人気です。冷静なおしり探偵がふふっと解決する物語。今回は列車での旅行中、お弁当が次々となくなる事件が発生。おしり探偵はいったいどうやって解決するのか...ぜひ読んでみてください。

3位



授業でとりあげた作品ですが、これは声を出して読みたい作品です。勉強するため学校に行こうとするジョン・パトリック・ノーマン・マクヘネシーがいるんことに巻き込まれます。大人が読んでもおもしろく、衝撃的なラストシーンをあなたはどのように考えますか？

Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

志望校合格を勝ち取るための「今」の過ごし方

小田 忠 (今津教室)

今津教室の小田です。夜寒が身にしみる季節になってまいりました。体調管理が難しい時期に入ってきますので、十分に気をつけて1日1日を過ごしていきましょう。

さて、受験生にとってこの時期は受験校を決定する学校の実力テスト、模擬試験が毎週のように実施されます。成績によって一喜一憂してしまうことも多いと思います。確かに受験校を決定する模試なので、気持ちはよくわかりますが、ここから成績を大幅に伸ばし、志望校合格を勝ち取った生徒を数多く見てきました。では、志望校合格を勝ち取った生徒はどのように過ごしたのでしょうか。

それは

- ①志望校合格のイメージ、合格後にその高校に通学しているイメージを強く持つこと
- ②受験まで勉強できる時間を計算し、各教科ごとに勉強できる時間を振り分ける
- ③時間を振り分けたあとは、やるべき勉強を一心不乱にやる。



①について

どうしても勉強をしていると、学力を上げるばかりに目が行ってしまうかもしれません。模試の点数や判定を気にして、なかなか他のことに目を向ける余裕もないかもしれませんが、一度落ち着いて、高校生活をイメージしてみましょう。高校生活をイメージしてみると、楽しい高校生活を実現したいという思いも生まれてくると思います。これは受験勉強の強力なやる気につながります。

とはいえ、受験勉強中は、実際にはまだ高校に入学していません。となると、具体的なイメージを膨らませるのは、大変かもしれません。

イメージを膨らませるために、一度志望校に行ってみることをお勧めします。闇雲に勉強するのもひとつの手ですが、一度落ち着いて、合格後の自分の姿をイメージしてみましょう。

このイメージを持っていると、受験勉強のやる気が自然と湧いてきます。



②について

11月になると、受験まで4ヶ月。日数にして約120日です。この120日をいかに効率的に使うかが合否を左右します。得意教科、不得意教科で割り当てる時間も変わってきます。これを考えずに勉強してしまうと、得意教科ばかりを勉強したり、不得意教科ばかり勉強することになってしまい、トータルで得点につながらない勉強をしてしまうかもしれません。ここは時間をしっかりとって、計算して、考えましょう。



③について

しっかり自分の中で計算できれば、あとは一心不乱に勉強するだけです。あと4ヶ月くらい勉強のみに自分の全力を注ぐことは非常に大事なことです。一生懸命勉強しても、必ず合格をつかむことができるかどうかはわかりませんが、合格した人は必ずと言っていいほど、一生懸命、全力で勉強しています。残り4ヶ月、一緒に頑張る、志望校合格を勝ち取りましょう。



最後に最近、心に残った言葉をお伝えします。

He can who thinks he can, and he can't who thinks he can't. This is an inexorable, indisputable law.
できると思えばできる。できないと思えばできない。これはゆるぎない絶対的な法則である。

【パブロ ピカソ】

